

2022年 一橋大本番レベル模試 地理

全3問 120分 150点満点

I (50点)

採点基準

問1 6点

- 沿岸部に大都市が見られる理由 i (歴史的要因)
(沿岸部では) 貿易が盛んであった (3点)
 - * 「盛んであった」は「活発であった」でも可
 - * 「貿易の拠点であった」でも可
 - * 「貿易の拠点」は「積み出し港」「貿易港」「輸出港」「ムスリム商人の経由地」でも可
 - * 「貿易」は「輸出」「積み出し」でも可
 - 沿岸部に大都市が見られる理由 ii (地理的要因)
(沿岸部は) 居住しやすい (3点)
 - * 「内陸部は居住が難しい」でも可
 - * 「居住が難しい」は「都市発展に向かない」「気候条件が悪い」「開発が難しい」でも可
 - * 「居住しやすい」は「開発がしやすい」でも可
 - 沿岸部に大都市が見られる理由 iii (人口移動)
(沿岸の) 都市部へ人口移動が起こる (3点)
 - * 「人口移動が起こる」は「人口が押し出される」「向都離村が起こる」「雇用機会を求める」でも可
- I. 1~3の加点の上限は6点である

問2 10点

- 南スーダン難民の主な受け入れ国
(南スーダン難民の主な受け入れ国は) ②⑤⑨である (2点)
- 難民受け入れ国の地理的・経済的特徴 i (地理的特徴)
(受け入れ国は) 南スーダンの隣接国である (2点)
 - * 「隣接国である」は「近隣国である」「隣接している」「地理的に近接している」でも可
- 難民受け入れ国の地理的・経済的特徴 ii (経済的特徴)
(受け入れ国は) 経済発展が遅れている (2点)
 - * 「発展途上国である」「国の経済が脆弱である」「経済的余裕がない」「貧しい」「低所得国である」でも可
- 難民受け入れの問題 i (難民の環境)
難民は厳しい環境に置かれている (2点)
 - * 「難民が栄養失調である」「難民は医療を受けられていない」「難民は虐待の危険に晒される」でも可
 - * 「環境」は「状態」でも可
 - * 「厳しい」は「劣悪な」でも可
- 難民受け入れの問題 ii (インフラの不全)
インフラの整備が不十分である (2点)

* 「インフラの整備」は「受け入れ体制」「教育支援」「医療設備」「食料供給」「就労支援」でも可

6. 難民受け入れの問題 iii (持続的支援)

難民支援の継続が難しい (2点)

* 「難民キャンプが満員である」「難民キャンプの収容限界に達している」でも可

* 「難民支援」は「難民受け入れ」でも可

I. 2~6の加点の上限は8点とする

問3 14点

[北アフリカの観光]

1. 気候の特徴

年中温暖である (3点)

* 「温暖である」は2点とする

2. 観光業の形態

(人気な観光業態は) バカンスである, または

(人気な観光業態は) 古代遺跡の観光である (3点)

*1 「リゾート滞在である」でも可

*1 「古代遺跡ツアーである」でも可

*2 「古代遺跡」は「歴史遺産」「史跡」「歴史的な名所」でも可

[政治的变化]

3. 2011年ごろの政治的变化 i (アラブの春)

(2011年ごろに北アフリカで) 「アラブの春」が発生した (2点)

* 「アラブの春」は「ジャスミン革命」でも可

4. 2011年ごろの政治的变化 ii (政権崩壊)

(2011年ごろに北アフリカで) 政権崩壊が起きた (3点)

* 「反政府デモが起きた」「民主化運動が起きた」「政権が打倒された」でも可

5. 2015年ごろの政治的变化

(2015年ごろに北アフリカで) ISの台頭でテロリズムが頻発した (3点)

* 「ISの台頭で」は「ISによって」でも可

* 「IS」は「イスラム国」「イスラミックステート」「ISIS」「ISIL」「イスラム過激派組織」でも可

* 「テロリズム」は「テロ」でも可

* 「テロリズムが頻発した」は「観光客が襲撃された」でも可

* 「頻発した」は「発生した」でも可

問4 20点

1. 国立公園による自然保護と観光業の手法の正の影響 i (生態系への影響)

厳格な規則で動植物を保護した (3点)

* 「規則」は「罰則」でも可

* 「厳格な規則で」は「観光地開発から」でも可

* 「観光地開発」は「人間活動」「人口増加」でも可

* 「動植物」は「自然環境」「生態系」「野生動物」でも可

* 「保護した」は「保全した」「守った」でも可

2. 国立公園による自然保護と観光業の手法の正の影響 ii (観光への影響)
(動植物が) 観光資源となった (3点)
 - * 「観光地となった」「世界遺産認定を得られた」でも可
3. 国立公園による自然保護と観光業の手法の負の影響 i (観光業の利益還元)
観光業の利益が地域住民に還元されない (3点)
 - * 「(住民の) 生活レベルが向上しない」「観光業の利益を政府が独占した」でも可
 - * 「利益」は「恩恵」「収益」「収入」でも可
 - * 「還元」は「配分」「分配」でも可
 - * 「観光業の利益」は「観光収入」でも可
4. 国立公園による自然保護と観光業の手法の負の影響 ii (農耕や遊牧, 狩猟禁止の影響)
食料調達が難しくなる (3点)
 - * 「食料調達」は「食料生産」「食料確保」「食料自給」でも可
5. 国立公園による自然保護と観光業の手法の負の影響 iii (村落間交易)
村落間の交易が困難になる (3点)
 - * 「生活圏が縮小する」「移動が制限される」でも可
 - * 「縮小する」は「制限される」でも可
 - * 「交易」は「交換」「交流」でも可
 - * 「困難になる」は「頻度が減少する」「途絶える」でも可
6. 国立公園による自然保護と観光業の手法の負の影響 iv (伝統的生活の維持)
伝統的生活が維持できない (3点)
 - * 「生活が不安定になる」「干ばつの被害を受けやすい」でも可
 - * 「干ばつの被害」は「不安定な気候の影響」「水不足」でも可
 - * 「維持できない」は「続けられない」でも可
7. 国立公園による自然保護と観光業の手法の負の影響 v (動物による被害)
農作物に被害が出る (3点)
 - * 「農作物が食い荒らされる」「人が襲われる」「動物が生活圏に侵入する」でも可
8. WMA 制度で住民主体へと移行した理由
住民の生活を安定させる, または
住民に観光業への従事を促す, または
住民が主体となって環境保護を行う (4点)
 - * 1 「住民の生活水準を向上させる」「住民も観光収入を得られる」でも可
 - * 2 「観光収入で生活を豊かにする」「観光業に従事する動機を与える」でも可
 - * 3 「住民と動物の共生につなげる」「持続可能な環境保護を進める」「環境保護と住民生活を両立する」でも可
 - * 3 「環境保護」は「自然保護」「環境保全」でも可
 - * 3 「主体となって」は「主体的に」「積極的に」でも可
- I. 1~7の加点の上限は 16点とする

II (50点)

採点基準

問1 12点

- 表Ⅱ-1から読み取れる特徴 i (国内線)
国内線の利用が盛んである (2点)
 - * 「国内線を含む統計ではアメリカ合衆国の都市数が多い」でも可
 - * 「利用が盛んである」は「発着数が多い」「乗降客数が多い」でも可
- 表Ⅱ-1から読み取れる特徴 ii (国際線)
国際線ではアメリカ合衆国での発着が少ない (2点)
 - * 「発着」は「乗降旅客数」でも可
- 国内線の利用が盛んな理由 i (国土の広さ)
(アメリカ合衆国は) 国土が広い (2点)
 - * 「国土が広い」は「土地が広大である」でも可
- 国内線の利用が盛んな理由 ii (大都市の位置)
(アメリカ合衆国では) 大都市が点在している (2点)
 - * 「点在している」は「分散している」でも可
- 国内線の利用が盛んな理由 iii (航空機の特徴)
航空機は迅速性が高い (2点)
 - * 「迅速性が高い」は「速達性がある」「速い」「短時間で済む」などでも可
- 国際線の利用が少ない理由
(アメリカ合衆国では) 世界都市が少ない (2点)
 - * 「世界都市」は「グローバルシティ」「金融の中心」「経済の中心」でも可
 - * 「世界都市」は「ハブ空港」でも可

問2 13点

- Bに貨物輸送拠点が置かれた理由
輸送費を安くできる (3点)
 - * 「利便性が高い」「移動距離を抑えられる」でも可
 - * 「移動距離」は「配送距離」「配達距離」でも可
 - * 「抑えられる」は「短縮できる」「短くできる」
 - * 「輸送費」は「配送費」「配達費」でも可
 - * 「安くできる」は「抑えられる」でも可
- Bで輸送費が抑えられる理由 i (人口重心の位置)
人口重心はB付近である (3点)
 - * 「B付近である」は「Bのあたりである」「Bに近い」「B側にある」でも可
- Bで輸送費が抑えられる理由 ii (メンフィスやルイビル の位置)
BはAより東部にある (2点)
 - * 「Aより東部にある」は「アメリカ東部にある」でも可
 - * 「東部にある」は「東海岸に近い」「東寄りである」でも可

4. Bで輸送費が抑えられる理由iii（人口の偏り）

広域都市圏は東部に多い（2点）

- * 「東部」は「北東部」「東海岸」でも可
- * 「広域都市圏」は「人口が多い都市」でも可

5. Aがどのような地点か

Aは本土48州の地理的中心である（3点）

- * 「地理的中心」は「地理的な中心」でも可
- * 「中心」は「中央」でも可
- * 「地理的」は「空間的」でも可

問3 12点

1. 変化が起こる前

（アンカレッジは）日本と欧米の経由地として栄えていた（3点）

- * 「欧米」は「アメリカ」「ヨーロッパ」など具体的に書いても可

2. 変化が起きた後

（アンカレッジでは）旅客輸送が減少した（3点）

- * 「旅客輸送」は「旅客便としての利用」でも可

3. 変化の理由i（航続距離の改善）

航続距離が改善した，または

（以前は）航続距離が短かった（2点）

- * 12「航続距離」は「飛行距離」でも可
- * 1「航空技術が発展した」「航空機が大型化した」「途中での給油の必要がなくなった」でも可
- * 1「改善した」は「長くなった」「伸びた」でも可
- * 2「航空技術が未熟だった」「航空機の大型化前だった」「途中で給油の必要があった」でも可

4. 変化の理由ii（ソ連の上空）

ソ連の上空を飛行できるようになった，または

（以前は）ソ連の上空を飛行できなかった（2点）

- * 「ソ連」は「ソビエト連邦」「ロシア」でも可

5. 変化の理由iii（冷戦）

冷戦が終結した，または

（以前は）冷戦期だった（2点）

- * 1「冷戦が終わった」「ソ連が崩壊した」「ロシアになった」でも可
- * 2「冷戦中であった」でも可

問4 13点

1. 国際航空貨物輸送の価格指数が急激に増加した理由i（需要増）

貨物輸送の需要が増加した（2点）

2. 国際航空貨物輸送の価格指数が急激に増加した理由ii（供給減）

貨物輸送の供給が逼迫した（2点）

- * 「逼迫した」は「減少した」でも可

3. 貨物輸送の需要が増加した理由i（医療物資）

医療物資が必要された (1点)

* 「医療物資」は「マスク」「フェイスシールド」でも可

4. 貨物輸送の需要が増加した理由 ii (消費財)

消費財が必要された (1点)

* 「消費財」は「生活必需品」「電子機器」「IT 機器」「電子機械」でも可

5. 貨物輸送の需要が増加した理由 iii (電子商取引)

電子商取引が活用された (2点)

* 「電子商取引」は「越境 EC」「インターネットショッピング」でも可

* 「電子商取引の利用が増加した」でも可

6. 貨物輸送の供給が減少した理由

旅客便数が減少した (2点)

* 「旅客便数」は「旅客便」「旅客輸送」でも可

7. 貨物輸送の需給ショックの原因

新型コロナウイルス感染症の拡大が起きた (3点)

* 「新型コロナウイルス感染症」は「コロナウイルス」「コロナ」「COVID-19」「感染症」でも可

* 「新型コロナウイルス感染症の拡大」は「新型コロナウイルスの感染拡大」でも可

Ⅲ (50点)

採点基準

問1 16点

1. 水力発電の導入が進んだ自然的要因 i (山地)
山地に恵まれている (2点)
* 「山脈が連なる」「起伏に富んだ地形である」「山がちである」「落差が存在する」でも可
 2. 水力発電の導入が進んだ自然的要因 ii (降水量)
降水量が多い (2点)
* 「多雨である」「水資源が豊富である」「河川が多い」でも可
 3. 風力発電の導入が進んだ自然的要因 i (海岸線)
海岸線が長い (2点)
 4. 風力発電の導入が進んだ自然的要因 ii (風)
季節風が吹く (2点)
* 「季節風の影響を受ける」「風力資源が豊富である」「風力を得やすい」でも可
* 「季節風」は「モンスーン」でも可
 5. 風力発電の導入が進んだ自然的要因 iii (沿岸部の環境)
沿岸部に低平な土地が広がる, または
遠浅な海が広がる (2点)
*1 「風を遮るものが少ない」でも可
* 「少ない」は「ない」でも可
*2 「洋上に風力発電所を建設できる」でも可
 6. 太陽光発電の導入が進んだ自然的要因 i (低緯度)
低緯度に位置する (2点)
* 「太陽高度が高い」でも可
 7. 太陽光発電の導入が進んだ自然的要因 ii (日射量)
日射量が多い (2点)
* 「日射エネルギーが大きい」「太陽エネルギーを強く受ける」でも可
* 「日照時間が長い」は不可
 8. バイオマス発電の導入が進んだ自然的要因 i (森林)
森林が多い (2点)
* 「森林」は「熱帯林」でも可
* 「林業が盛んである」「森林資源が豊富である」でも可
 9. バイオマス発電の導入が進んだ自然的要因 ii (農業)
(ベトナムは) 農業が盛んである (2点)
*2 「農業」は「稲作」「サトウキビ栽培」「コーヒー栽培」でも可
- I. 3~5の加点の上限は4点とする

問2 9点

1. ベトナムへ日本企業が進出する理由 i (安価な労働力)

安価な労働力が得られる (2点)

- * 「人件費が安い」「賃金水準が低い」でも可
- * 「安価な」は「安い」「低賃金で」でも可

2. バトナムへ日本企業が進出する理由 ii (若年労働力)

若年労働力が得られる (2点)

- * 「平均年齢が低い」でも可
- * 「若年」は「若い」でも可

3. バトナムへ日本企業が進出する理由 iii (勤勉な労働力)

勤勉な労働力が得られる (2点)

- * 「バトナム人は勤勉である」でも可
- * 「勤勉である」は「労働意欲が高い」「真面目である」でも可
- * 「勤勉な」は「労働意欲が高い」「真面目な」でも可

4. バトナムへ日本企業が進出する理由 iv (有望な市場)

有望な市場である (2点)

- * 「有望な」は「成長が期待できる」「将来性のある」「ポテンシャルのある」「発展途上の」でも可

5. バトナムへ日本企業が進出する理由 v (地理的優位性)

ASEAN 諸国とアクセスが容易である (2点)

- * 「ASEAN 諸国」は「中国」でも可
- * 「アクセスが容易である」は「近い」でも可

6. バトナムへ日本企業が進出する理由 vi (税制)

税制の優遇がある (2点)

- * 「法人税が安い」「輸出加工区が設けられている」「誘致政策が行われている」でも可
- * 「法人税」は「関税」でも可

7. バトナムへ日本企業が進出する理由 vii (友好関係)

友好関係が強化される (2点)

- * 「友好関係」は「信頼関係」でも可

8. バトナムへ日本企業が進出する理由 viii (発展途上国への支援)

発展途上国への支援になる (2点)

- * 「先進国の役割を果たせる」「SDGs の目標を達成できる」「発展途上国に貢献できる」でも可
- * 「役割」は「責任」でも可

9. バトナムへ日本企業が進出する理由 ix (二国間クレジット)

二国間クレジット制度により温室効果ガス削減目標達成に繋がる (2点)

- * 「二国間クレジット制度」は「JCM」でも可
- * 「温室効果ガス削減実績に反映できる」でも可
- * 「温室効果ガス」は「二酸化炭素」でも可

- I. 1~3 の加点の上限は 4 点とする
- II. 4~6 の加点の上限は 4 点とする
- III. 7~9 の加点の上限は 4 点とする
- IV. 1~9 の加点の上限は 9 点とする

1. 図Ⅲ-2 で示している発電施設
(発電施設が) 水力発電ダムである (2点)
 - * 「ダムである」でも可 (以下の採点基準でも同様)
 - * 「水力発電施設である」は, 1点とする
2. 懸念されている産業への影響 i (地力低下)
農地の地力が低下する (3点)
 - * 「有機物を含んだ土壌が堰き止められる」でも可
 - * 「堰き止められる」は「流出しない」「供給されない」「供給が減る」でも可
 - * 「有機物」は「養分」「栄養分」「栄養」でも可
 - * 「土壌」は「土砂」でも可
 - * 「農地」は「下流域」でも可
 - * 「地力が低下する」は「肥沃度が下がる」でも可
3. 懸念されている産業への影響 ii (侵食)
農地が失われる (3点)
 - * 「失われる」は「侵食される」「破壊される」「流される」でも可
 - * 「農地」は「メコンデルタ」「下流域」でも可
4. 懸念されている産業への影響 iii (水位低下)
河川の水位が低下する (3点)
 - * 「海水が流入し, 塩害が起きる」「水不足となる」でも可
5. 懸念されている産業への影響 iv (漁業)
魚の回遊に悪影響を及ぼす (3点)
 - * 「魚の漁獲量が減少する」でも可
 - * 「回遊」は「移動」「産卵」でも可
6. 懸念されている環境への影響 i (森林の伐採)
森林が伐採される (2点)
 - * 「伐採される」は「失われる」「減少する」「破壊される」でも可
7. 懸念されている環境への影響 ii (生態系)
生態系が崩壊する (2点)
 - * 「生物の生息域が減少する」でも可
 - * 「崩壊する」は「破壊される」でも可
8. 懸念されている環境への影響 iii (環境への影響)
水質が悪化する (2点)
 - * 「河川が濁る」「ダム湖でヘドロ化する」「汚臭が発生する」でも可
9. 懸念されている地域住民への影響 i (住民の立ち退き)
住民が立ち退きを迫られる (2点)
 - * 「立ち退き」は「移住」でも可
 - * 「迫られる」は「強制される」でも可
10. 懸念されている地域住民への影響 ii (洪水の被害)
(洪水によって) 財産が流される, または
(洪水によって) 住民が流される (2点)
 - * 1 「家屋が浸水する」でも可

*「浸水する」は「流される」「失われる」「流失する」でも可

*1「流される」は「失われる」「流失する」でも可

*1「財産」は「家屋」「家畜」でも可

*2「住民」は「村人」「村民」でも可

*2「流される」は「溺れる」「溺死する」でも可

11. 懸念されている地域住民への影響iii（健康被害）

（水質の悪化によって）健康被害が発生する（2点）

*「健康被害」は「下痢」「腹痛」でも可

I. 2～5の加点の上限は6点とする

II. 2～12の加点の上限は14点とする

問4 9点

1. マイクロ水力発電（小水力発電）の特徴

（マイクロ水力発電は）施設が小規模である（2点）

*「大規模な施設を必要としない」「河川の水をそのまま利用する」でも可

2. マイクロ水力発電（小水力発電）の長所i（環境への優しさ）

（マイクロ水力発電は）環境への負荷が小さい（2点）

*「建設時の環境破壊が少ない」「活用されていないエネルギーを使っている」「環境に優しい」でも可

*「環境破壊」は「森林伐採」「森林破壊」でも可

*「活用されていない」は「捨てられている」「使っていない」でも可

*「使っている」は「活用している」でも可

*「負荷」は「悪影響」「影響」「コスト」でも可

3. マイクロ水力発電（小水力発電）の長所ii（低コスト）

（マイクロ水力発電は）投資額が小さい（2点）

*「低コストで運用できる」「運用費用が低い」でも可

4. マイクロ水力発電（小水力発電）の長所iii（設置の容易さ）

（マイクロ水力発電は）設置が容易である（2点）

*「限られた土地でも設置できる」「設置の障壁が低い」でも可

*「限られた土地でも」は「落差と流量があれば」「狭い土地でも」でも可

*「設置」は「導入」「建設」でも可

5. マイクロ水力発電（小水力発電）の長所iv（将来性）

（マイクロ水力発電は）未開発の包蔵量が多い（2点）

*「将来性がある」「開発の余地が多い」でも可

6. マイクロ水力発電（小水力発電）の導入に関して課題となっている事柄

平野部と山間部で導入可能地域の多さに差がある（3点）

*「平野部では導入できる場所が少ない」でも可

*「平野部」は「落差が少ない地域」「落差が確保できない地域」「河況係数が小さい地域」でも可

*「導入できる場所が少ない」は「開発余地が少ない」でも可

*「導入可能地域の多さ」は「開発余地」でも可

I. 2～5の加点の上限は4点とする

